



がっこうだいすき

杉 っ こ 通 信

杉の子特別支援学校だより

平成 26 年 2 学期号
10 月 14 日（火）発行

作業実習棟「ゆうあい棟」が完成しました！

平成 25 年 11 月に着工した、石薬師分校の作業実習棟「ゆうあい棟」が平成 26 年 7 月末に完成しました。

県内初の県立高校施設内に設置した特別支援学校として、石薬師分校が開校されて 5 年目になります。特別支援教育へのニーズが高まるなか、年を追うごとに生徒数が増加していき、慢性的な教室不足が喫緊の課題となっていました。

より充実した学校生活を送るために、新しく実習や作業のための教室ができることを保護者も子どもたちも待ち望んでいました。

今回は、新しく完成した作業実習棟の「ゆうあい棟」について紹介します。



校舎からの渡り廊下と昇降口

「ゆうあい棟」の名前の由来は？

「ゆうあい棟」という名前は、石薬師分校と石薬師高校の両校で話し合っ、英語で「あなた」と「わたし」を表す「You（ユー）＆I（アイ）」が、「友＆愛（ゆうあい）」を育むという意味を込めて名付けました。これを機会に、両校の共生がより深まることを願っています。



校舎から見た
「ゆうあい棟」

杉の子特別支援学校便りは、本校・分校の情報共有および保護者・地域への情報発信を主な目的として、毎学期発行していきます。杉の子特別支援学校へのご意見、ご要望等ございましたら、お気軽にお知らせください。

<学校だより担当>

本校 教頭 森下理香（059-379-1831）

分校 教頭 細木健樹（059-373-2727）



「ゆうあい棟」の校舎フロア図



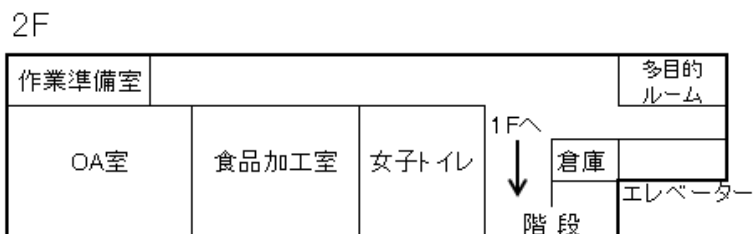
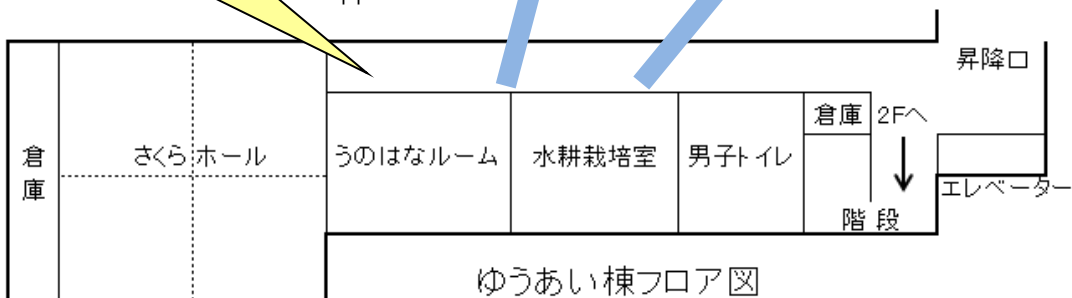
さくらホール
約 200 名収容可能



さくらホール入口
の洗面スペース



1 階男子トイレ





「ゆうあい棟」の施設紹介

さくらホール・・・約 200 名が収容可能な大広間です。普段はパーティションによって 4 つの作業室に間仕切り、職業科の授業において教室として使用しています。正門まで続くさくら並木にちなんで、さくらホールと命名しました。

うのはなルーム・・・主に石薬師高校が使用する会議室です。最大 40 名程度まで収容可能です。地元出身の国文学者、佐佐木信綱作詞の「夏は来ぬ」の歌詞にある「うのはな」から命名しました。

水耕栽培室・・・職業科の農業班の授業で、小松菜の種付けから育成までを実習できる作業室です。また、陶芸の作業室としても使用が可能です。

食品加工室・・・職業科の授業で使用する調理実習専用の作業室です。

OA 室・・・・・・職業科のオフィスコンピュータの授業で使用するパソコン室です。25 台のノートパソコンとプロジェクタ、電動スクリーンを完備しています。

木造二階建ての作業実習専用の校舎で、壁や床、階段等に木材が多数使用されていて、見た目にも温もりのある優しい校舎です。いつまでも大切に使いたいと思います

「ゆうあい棟」の開所式を開催しました。

9 月 3 日(水)に、ゆうあい棟開所式がゆうあい棟さくらホールで行われ、三重県議会、三重県教育委員会、鈴鹿市・亀山市教育委員会の代表者や学校関係者評価委員など来賓 19 名と石薬師高校・石薬師分校の両校生徒・教員をあわせて約 200 名が参加しました。

式典は石薬師高校・石薬師分校両校の生徒による校歌斉唱から始まりました。校長挨拶では、丹羽毅石薬師高等学校長と生駒昌之杉の子特別支援学校長が、両校の共生共学の推進とさらなる教育活動の充実に向けての決意を述べました。



式典に続いて両校の音楽科教諭による記念コンサートが行われました。

コンサートでは、地元石薬師地区出身の国文学者で歌人の佐佐木信綱作詞の「夏は来ぬ」と東日本大震災の復興を願って CD が発表された「明日という日が」の 2 曲が両校の教諭によって歌唱されました。

本校だより

「杉の子レンジャー参上！！in鈴鹿生活介護センター」



7月19日 鈴鹿生活介護センターの夏祭りに参加させていただきました。杉の子レンジャーの「杉グリーン」「黒松ブラック」「桜ピンク」とそのライバル怪人「ピエールミッシェル2.5（略PM2.5）」とその手下の「モグリン」、司会のおねえさんと本校の教頭先生の7人で熱いバトルを演じました。

ストーリー 自然環境を守る戦士、杉の子レンジャーが、鈴鹿の町を排気ガスで黒く汚染しようともくろむピエール達に立ち向かい、センターの利用者さんの協力でピエールを阻止するため戦う物語。途中、ピエールの手下のモグリンが杉の子レンジャーをかばうために命がけで抵抗するなど、涙あり、笑いありの盛りだくさんの劇でした。

劇の後は握手会と撮影会で利用者の方と近くでお話することができ、皆さんが笑顔で楽しんでいただけている様子がみられてとてもよかったです。また、来年も訪問できたらいいなと思いました。

中学部教員

宮崎 真澄



高等部

例年、高等部は石薬師高校のボランティア部と交流学習を行っています。H26年度の第一回の交流が7月に実施され、自己紹介の後に混成チーム対抗で卓球バレーを楽しみました。10月には石薬師高校の文化祭に招待してもらい模擬店やその他の催しを楽しんでくる予定です。



小学部

小学部では、年間8回学部集会を行っています。違う課程の友だちと触れ合ったり、季節の行事を通して四季の移り変わりを感じたりすることが目的です。

9月の集会のテーマは「お月見」。みなさん「お月見どろぼう」って知っていますか？十五夜に子どもたちが地域の家庭を回ってお供えしてあるお団子やお菓子をもらう行事です。今回お菓子をもらったり友だちにお菓子をあげたりしました。

これからもいろいろなテーマで楽しみたいと思います。



お月見どろぼうだぞ～



おかしどうぞ。



集会のはじめには毎回、握手をする手遊びをしています。

中学部

少し前のことになりますが、2014 F I F A ワールドカップのブラジル大会で世界中が盛り上がっていた6月から7月にかけて本校では、学部別に運動会が行われました。

中学部では6月27日（金）に運動会を行いました。今年は、一人ひとりが力を

発揮した種目のほかに、友だちと力をあわせた二人三脚リレーがあったり、チームごとの応援合戦があったり、サメ怪人が出現したり、……。

また3年生は、それぞれが色々な係りを担当して立派に役割りを果たしていました。

みんなが楽しく過ごせた半日でした。

最後に、閉会式で加佐登郵便局からワールドカップ公式試合球ブラズーカのレプリカが送られました。



杉の子本校 文化祭のご案内

何かとお忙しいことと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご来校いただきますようお願いいたします。



1. 日時 平成26年11月 7日(金)
11月 8日(土) <保護者、一般公開はこの日のみです>

2. テーマ 「えがおで たのしもう！
もりあげよう！ はじけよう！」



3. 11月 8 日(土) 公開日日程

9:00	9:45	11:40	12:30	13:50	14:20	14:30
	学部発表(休憩含む) (体育館) 保護者・一般公開 (児童生徒は発表時のみ体育館へ)	・ 昼食 ・ 展示見学 (図書室・ロビー)	・ 児童生徒作品展 示 (図書室・ロビー) ・ お楽しみコーナー 12:30~13:30 (体育館・プレイルーム)	PTA企画 (体育館・プレイルーム)	クロージ ング (体育館)	

- 車でお越しの方は、ダム下駐車場への駐車をお願いいたします。駐車場に限りがありますので、できるだけつめて駐車することにご協力ください。なお、鈴鹿病院駐車場に駐車することはお控えください。
- 観覧席は設置しておりませんので、必要に応じて敷物等ご準備ください。
- 昼食につきましては、各自でご用意ください。



小学部

「あいうえ音楽隊」♪

GReeeeNの「あいうえおんがく♪」にあわせ

あ・い・う・えと四つの音楽隊が登場・・・

一生懸命練習をした楽器演奏や踊りなど、楽しい曲にあわせて
みんなががんばってきたことを発表します。



最後はみんなであの曲でダンス。お楽しみに！



中学部

MUSIC FAIR

♪リズム♪リズム♪リズム♪

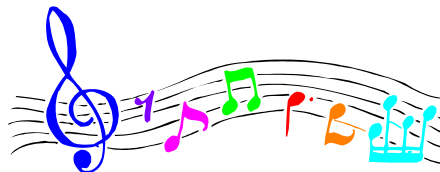
うたおう！おどろう！杉の子中学部43人生徒による

♪MUSIC FAIR（ミュージックフェア）♪

手話を取り入れた 「花は咲く」
サンバのリズムに乗って 「風になりたい」
ロックのリズムで 「WE WILL ROCK YOU！」
T A I K Oピクス&ダンス 「妖怪ウォッチ」
和太鼓演奏 「すぎのこやまびこ太鼓」
ダンス 「ハピネス」
全員合唱 「翼を下さい」



みんなが一生懸命がんばってきたことを
一人ひとりが精一杯の思いで発表します。
みなさんお楽しみに・・・！



高等部



高等部の文化祭の取組みがはじまりました。まずはテーマや発表内容を相談する集会を開きました。今年のテーマは【ウエルカム トゥ「高等部ステージ」】です。今年もそれぞれのやりたいことや特技を寄せ集めながらも、ひとつのものを創り上げます。話合いの後は、さっそくみんなで太鼓の練習をはじめました。みなさんに楽しんでもらえる発表になるようにがんばります!!

本校よりお知らせ

学校だより第1号でお知らせした「目指す学校像」を実現するための「今年度の行動計画」への上半期の取り組み状況をお知らせします。

- (1) キャリア教育の視点に立った小中高の一貫した教育内容の整備を行う。
地域と連携した一貫性のあるキャリア教育を推進する。

<教育内容の整備・地域との連携・小中高および課程の連携>

- ① 在籍する児童生徒の多様な障がいの状態に応じた教育が行われるように、教育課程の見直しを行っています。第1回(5月)・・・各学部別に各課程の教育課程の特徴や課題を発表し、情報共有しました。
第2回(7月)・・・教科書選定に関わる教育課程上の課題を提示し、次年度の教育課程についての話し合いを進め、現在にいたります。中学部では、A課程検討委員会を設置し、シラバス、評価等について見直しを進めています。
- ② 保護者および関係者の皆様と児童生徒の支援情報を共有するために、個別の教育支援計画の改定をすすめています。来年度より新しい個別の教育支援計画を使用していく予定です。
- ③ (ア) 昨年度より地域にある福祉事業所との連携をさらに深める取り組みを始めました。今年も夏季休業中に小・中・高の教職員(約30人)が分かれて地域のいくつかの事業所を見学しました。10月には、逆に事業所の方に学校を見学してもらい、放課後には理解を深める懇談会をする予定です。
(イ) 今年も進路見学会(12月)や進路講演会(分校と共催で11月)を実施し、事業所の様子や卒業生の話を聞く機会を作る予定です。
(ウ) 小中高へとつなぐキャリア教育を行うため、校内研修を計画して教員の共通理解を深めたり、個人個人の状況が細かく表せる改良版アセスメントシートを作成したりしました。担任が記入したその資料を基に学年間・学部間で、児童生徒理解の研修を深めています。
(エ) 昨年度より始めた保護者対象の分校見学会を今年度も12月に2回実施する予定です。

- (2) 保護者や地域への情報発信を積極的に行う。

- ① 昨年度より、保護者、地域、近隣学校等への理解を深めるために、学校の情報を学校便りとして学期に1回発行しています。(第1号5月27日、第2号10月14日、第3号1月予定)
- ② 進路便りを学期1回発行しています。(第1号7月18日発行 職場実習報告、先輩の講演会、分校見学会などを掲載)
- ③ 学校ホームページを充実させ校外へ情報発信を行います。
学校ニュースと学部ニュースを月ごとに更新しています。
- ④ コーディネーター便りを発行しています。(5月、6月、7月)

三重 すぎのこ
で検索してね!!

(3) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。

- ① 学校全体の諸問題に関わる課題を明らかにし、解決に取り組むための会議を月2回実施しています。
- ② いじめ防止委員会を設置し、会議を実施しています。そこでは、いじめアンケートの実施と集約、気になる事象についての検討などを行い、いじめに関する情報交換をしています。
- ③ 教職員の研修として、三重県教育委員会より、倉田幸則子ども安全対策監をお招きし、子ども理解と教師の働きかけについての研修会を行いました。
- ④ 児童生徒の関係者との担当者会議を随時実施しています。担当者会議では、学校教育への理解を深めていただくとともに、児童生徒の状況を情報交換し、学校生活が円滑に過ごせるように話し合いを進めています。

(4) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、保護者や地域、高等学校等との連携を深める。

- ① 教育相談、就学相談について随時実施しています。また、各地域支援事業は下記のとおりです。
 - ・学校見学会（本校6月19日、分校7月11日・14日）
 - ・杉の子1日体験研修（6月10日、10月7日、分校10月16日）
 - ・スクールボランティア講座（9月25日、11月8日）
 - ・夏季研修講座（7月28日、7月30日、9月2日）
- ② 本校中学部卒業生の分校高等部へのスムーズな移行を支援するために本校と分校との連携を深めます。
 - （ア）本校中学部卒業生の連絡会を、入学前の3月と夏季休業中の7月末に行いました。
 - （イ）中2が5月に分校見学会を、中3が9月に分校体験会を行いました。

(5) 安心・安全な学習環境の整備に努める。

- ① 学校安全計画を作成し、学校施設・設備の定期的な点検を行い、随時改善を行っています。また、災害に備えた職員研修、児童生徒の防災学習、避難訓練、保護者の訓練（引き渡し訓練・災害ダイヤル訓練など）を行っています。

(6) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る。

- ① 防災への取り組み
本校児童生徒の実態に応じた防災教育を探り進めています。避難方法、引き渡し方法及び校内の設備点検など、昨年度の防災訓練を受けての課題について防災委員会で検討しています。
 - ・避難訓練（6月24日：引き渡し訓練も同時に実施、10月23日予定）。
 - ・防災講話（【小学部】10月17日 【中学部・高等部】10月24日予定）
 - ・災害ダイヤル訓練（7月1日実施。10月1日、1月15日予定）
 - ・スクールバス引き渡し訓練（12月8日予定）



平成26年度 学校経営の改革方針
本年度の行動計画 (中間評価) 9/30 現在

杉の子特別支援学校石薬師分校

(1) キャリア教育の視点に立った小中高の一貫した教育内容の整備を行う。地域等と連携した一貫性のあるキャリア教育を推進する。

○教務部内で課題の共通認識を図る。今後の方針を探り、次年度以降に生かす。

(取組状況の指標) 本校と分校との合同教務部会を開き、課題を共有し整備に生かす。合同教務部会を8月と2月と年2回開催する。

(達成状況の指標) 参加者へのアンケートを実施して「意識が高まった」回答が70%以上。

合同教務部会1回開催(7/29)、アンケート2月実施予定

○地域に福祉施設と協力して「進路資源リスト」を作成し、本校・分校とも生徒・保護者・職員に配布する。「分校進路たより」を発行し、本校・分校とも生徒・保護者に配布、職員に配信する。パートナーシップ会議を開催し、そこでの意見を参考として職業教育・進路学習を行う。

(取組状況の指標:「進路資源リスト」を作成、「進路たより」を発行する。パートナーシップ会議を開催する。)

パートナーシップ会議2回開催(6/24, 9/17)

(達成状況の指標:「進路資源リスト」の全員への配布。「進路たより」を6号発行する。パートナーシップ会議への関係機関・企業の参加が延べ30社(含む機関)以上。)

パートナーシップ会議参加関係機関・企業数40社

(2) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。

○生徒の緊急時等の対応について、救急法研修会を実施する。

(取組状況の指数:年間1回)

(達成状況の指数:アンケート等で「意識が高まった」等の回答が80%以上)

救命救急法講習会実施(8/6)、「今後に活かせる」という回答結果100%

○石薬師高校との連携を深め、よりよい教育環境の実現を図る。

(取組状況の指標:事前に協議事項を全職員で確認し、週1回、連絡会を持つ。)

(達成状況の指標:毎回の確認事項を全職員に還流し、共通理解を図る。)

石薬師高校との定期連絡会(金曜1限)17回実施

○本校分校共通の通信を発行し、両校の保護者・地域住民に配布する。

(取組状況の指数:学期1回以上の発行)

(達成状況の指数:保護者アンケートでの通信への満足度80%以上)

「杉っこ通信」1回発行(5/27)

○生徒の特性理解や多様化している課題に対応するための全体研修会を企画する。

(取組状況の指標:年2回)

(達成状況の指標:アンケートでの満足度80%以上)

全体研修会1回実施(8/20)、第2回全体研修会は12/11実施予定

○子どもを取り巻く人権に関する実態や人権教育に対する教職員の意識を把握し、人権学習の取り組みに反映する。年2回の人権デーおよび人権フィールドワーク等の研修実施。次回も取り組みたいという感想の過半数を目指す。

人権全体研修会1回実施(9/29)

○石薬師高校との学校間交流 ・昼食交流5回 ・放課後交流5回 ・授業交流(每学期1回)の実施
3学期に分校生徒と石薬師高校生徒へのアンケートを実施し、次年度の生徒主体の交流に活かす。

昼食交流3回(5/28, 6/11, 9/24)、放課後交流3回(6/4, 9/19, 9/26)、授業交流1回実施(7/14)

(3) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、専門性の向上を図るとともに、地域の学校や関係機関と協働し、効果的な支援を進める。

○地域のセンター校として、分校見学会等を通じて鈴鹿・亀山地域に向けた情報発信をし、更なる諸機関との連携を継続的に進めていく。

(取組状況の指標：相談業務の周知徹底。関係諸機関との連携。)

(達成状況の指標：就学相談および教育相談の件数60件以上。関係諸機関会議への参加。)

来校相談26件、派遣相談14件、電話等での相談57件

○高等学校に向けてのセンター的機能を推進していく。とりわけ、石薬師高校との情報交換会を学期に1回程度持ち、本校との連携も密にして情報発信を進めていく。

(取組状況の指標：石薬師高校との情報交換会や連絡会において相談事をきき、必要に応じて会を設定する。)

(達成状況の指標：会の反省会において、高校側の満足度70%以上。)

石薬師高校の授業参観・生徒観察の実施(4/21, 4/22, 5/19, 5/20)、検討会への参加(5/1, 5/26)

○地域(関係機関・福祉施設・一般企業)との連携を深めるため会議を開催し、また他機関主催のそうした会議・行事に積極的に参加する。

(取組状況の指標：パートナーシップ会議の開催、鈴鹿亀山圏域自立支援協議会および就労部会、相談部会への参加。)

(達成状況の指標：パートナーシップ会議の年2回開催。関係機関の会議・行事に年10回以上の参加。)

パートナーシップ会議2回開催(6/24, 9/17)、関係機関の会議・行事への参加回数20回

(4) 安心・安全な学習環境の整備に努める。

○生徒増に伴う作業室の確保等、より良い学習環境の整備に努める。

(取組状況の指標：新棟建設の進捗状況を全職員に環流し、教職員の意見・要望の集約に努める。)

(達成状況の指標：石薬師高校の施設借用の削減を図る。)

2学期始業式、文化祭練習、校内実習、各種委員会等ゆうあい棟で実施

○交通安全教室を計画し、自転車の乗車、歩行について交通ルールを理解を深める。

(取組状況の指数：1, 3年生対象 年間1回)

(達成状況の指数：学習後、振り返りシートを使って、生徒の理解度を確認する。)

交通安全教室実施(1年 5/7)

○長期休業日前には、全校生対象に家庭での過ごし方、食育について話しをする。

(取組状況の指数：全校生対象 学期1回)

(達成状況の指数：各クラスにて、担任が生徒の理解度を確認する。)

1学期終業式において実施(7/18)

(5) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る。

○大地震・災害時における危機管理の充実を図る。

(取組状況の指標：大地震を想定した防災教育・研修を年3回以上行う)

(達成状況の指標：防災教育・研修後の反省会やアンケートによる調査で職員の「意識が高まった」とする回答が80%以上)

石薬師高校との合同避難訓練(7/8)、防災学習会(9/3)

【後期予定】 合同避難訓練(12月)、スクールバス避難訓練(10/10)、引き渡し訓練(12/8)



杉の子特別支援学校10月～3月の主な行事予定

2014, 10, 14現在

(変更になる場合があります)

	本校	分校
10月	1日 白鳥中学校間交流 高等部 修学旅行(9/29日～)	
	2日 中B 校外プール	
	7日 一日体験研修・高等部 進路懇談会	
	8日 中学部 秋の校外学習	
	9日 小学部 修学旅行(～10日) 高等部 石薬師交流	9日 文化祭, 10日 文化祭(本校で発表)
	15日 授業参観	10日 スクールバス避難訓練
	16日 小B 校外学習・中1年生 校内実習	16日 一日体験研修
	21日 中C 校外学習	20日 1年校内実習、2年現場実習 (～31日)
	22日 中B 2, 3年校外学習 避難訓練	
	28日 小C 校外学習	
11月	7日 文化祭(～8日)	
	8日 文化祭(一般公開日)	
	10日 振替休業日	
	12日 中C3年施設体験	
	18日 中学部 修学旅行(～20日)	19日 修学旅行(～21日)
	19日 小A・高C 社会見学、小B校外学習	27日 清掃技能検定
	27日 小学部 学校間交流(井田川小) 中学部 学校間交流(白鳥中)	28日 タバコとくすりの話(1年)
	28日 白鳥中学校区人権フォーラム	
12月	3日 高等部 校外学習	1,9日 本校中学部保護者見学会
	8日 本分合同スクールバス引き渡し訓練	3日 卒業生のお話を聞く会
	10日 中B 校外学習、高等部 石薬師高交流	5日 1年、3年校外学習
	15日 懇談日(～19日)	8日 本分合同スクールバス引き渡し訓練
	18日 短縮日課(～22日)	10日 個別懇談(～17日)
	22日 終業式	12日 「思春期のこころとからだ」学習
		22日 終業式
1月	8日 始業式	8日 始業式
	9日 短縮日課	21日 授業参観
	23日 授業参観	26日 2年現場実習(～2/6日)
		29日 歯の学習(3年)
2月	3日 平成27年度SBコース説明会	30日 3年校外学習
	6日 高等部校外学習	2日 1年現場実習(～2/6日)
	9日 小B 校外学習	9日 自宅学習日(石薬師高前期選抜)
	10日 入学者選考日・小中 一日体験入学	10日 入学者選考日
	13日 中C 校外学習	
	16日 合格発表日	16日 合格発表日
	20日 中B 校外学習	20日 携帯安全の学習(2年)
	25日 小C 校外学習	
	2月中 白鳥中 学校間交流	
3月	6日 卒業式	2日 卒業生を送る会
	9日 高等部石薬師高交流	5日 卒業式
	11日 入学者選考日(再募集) 小B・中B 校外学習	9日 個別懇談(～17日)
	13日 合格発表日 懇談日(～19日)	11日 入学者選考日(再募集)
	17日 入学説明会、短縮日課(～20日)	13日 合格発表日
	20日 終了式	17日 入学者保護者説明会
		20日 終了式